

問 以下の新聞記事を読み、訪日外国人が増加する要因と外国人を受け入れる側の課題について、あなたの考えを700～800字で述べなさい。

2016年に日本を訪れた外国人旅行者数が、暦年では初めて2000万人を突破した。訪日客数は13年に1000万人を超えたばかりで、3年で一気に2倍に増えた。ただ、政府目標の「20年に4000万人」を達成するには、宿泊施設の確保や外国語案内板の設置など、受け入れ態勢の整備が課題だ。

国土交通省が31日、2000万人を前日の30日に超えたと発表した。観光ビザの発給要件の緩和や航空路線の新規就航で、アジアからの旅行者が伸びたためだ。中国からの訪日客は1～9月の累計で前年同期比30.5%増の500万7200人となった。アジアからの訪日客は約8割を占める。

地方の観光地に足を延ばす人も増えている。瀬戸内海に面する兵庫や岡山、広島などの7県と民間企業は今年4月、「せとうち観光推進機構」を設立した。島々の景観や海の幸など「日本らしい」観光資源をアピールし、訪日客を呼び込む狙いだ。10月には古民家を活用した宿泊施設の整備に着手した。

買い物だけでなく、日本文化を楽しむ旅行者も増えている。ロシア人のバリリア・フォーミエンコさん(33)は10月29日、東京都中央区で着付けや茶道などの体験サービスを提供する「新日屋」で初めて着付けを体験し、「苦しい」と苦笑いしながら息子と記念撮影した。11泊の予定で東京や箱根、京都を巡り、温泉やテーマパークを楽しむという。

一方、政府目標の達成には課題も多い。

最も懸念されるのは、宿泊施設の確保だ。日本政策投資銀行の試算によると、20年に4000万人の外国人旅行者が日本を訪れた場合、東京都内では延べ1880万人分の宿泊施設が不足する可能性がある。

言葉の壁を解消するための、ソフト面の対応も欠かせない。外国語でガイドをする通訳案内士の資格を持つ人は4分の3が東京、神奈川、大阪などの都市部に集中する上、約7割が英語の通訳で、地域的、言語的に偏りが大きい。地方では外国語の案内表示が少ないことや、インターネットの接続環境が悪いなどの不便さも指摘されている。

世界の観光立国を見ると、14年の外国人観光客数はフランスが8370万人、米国が7475万人など、日本は欧米各国に大きく水をあけられている。人材の育成やインフラの整備に加え、地域の観光資源に磨きをかけるなど、官民挙げての取り組みが求められている。

【出所】「訪日外国人 3年で倍 今年2000万人突破 宿泊施設や案内表示 課題」『読売新聞』2016年11月1日付朝刊、2頁。